



2011～2012年度

ライオンズクラブ国際協会337-D地区

アクティビティ（活動）報告

(ライオンズクラブは、地域社会への身近な奉仕活動と国際的奉仕活動を行っています。)

地区スローガン
「一隅を照らす」
地区ガバーナーテーマ
「思いやりを形に」
地区ガバナー 譲名 安信

ライオンズの誓い
われわれは知性を高め
友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、
社会奉仕に精進する



■鹿児島リジョン

3Z／鹿児島維新LC

- ①【3月21日（水）】「かごしま子どもHUGネット（子育て支援活動）」
(なかよし園／鹿児島市真砂町)
※5月報告分

3月は、鹿児島市真砂町のなかよし園を訪問しました。障害を持っている子供達とお母さん達と一緒に、音楽と風船でコミュニケーションを図り、楽しい時間を過ごして頂きました。親子とも笑顔になり喜んでいました。



- ②【4月15日（日）】「早朝清掃」（みなと大通り公園周辺）



今回は、鹿児島東ライオンズクラブの方々と一緒に県外からの観光客が増えているみなと大通り公園周辺の清掃を行いましたが、もともとかなり清掃がされており、塵は2袋分回収しました。

参加者：鹿児島東LC 3名、鹿児島維新LC 12名

- ③【4月27日（金）】「かごしま子どもHUGネット（子育て支援活動）」
(川上幼稚園／鹿児島市吉野町)



4月は、鹿児島市吉野町の川上幼稚園で、誕生日会に参加しました。子供達と一緒に踊ったり、風船を使いながら、同じ時間を共有し、笑顔になって楽しんで頂けたと思います。



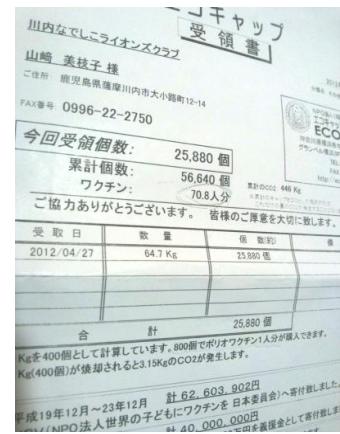
6 Z/川内なでしこLC

【4月27日(金)】「ペットボトルキャップ送付」(誠建設様→エコキャップ推進協会 ECOCAPへ)

「世界中の子供たちへワクチンを・・・!!」を目的に会員みんな各自で集めたペットボトルキャップを例会時に持ち寄り、エコキャップ推進協会ECOCAPへ送った。今回総個数25,880個。70.8人分のワクチンとなった。これからも継続事業として活動していきたい。



ペットボトルキャップ写真



キャップ確認書

9 Z/志 布 志LC

①【2011年7月~2012年6月】「メンバーズスピーカー」(例会場) ※4月報告分

例会の際に、ゲストスピーカー・メンバーズスピーカーと称し色々な方々のお話を聞き、メンバー同士の結束、また新会員拡大の情報の場としての活動を行いました。今年度はまだあと2ヶ月ありますが、今までで9名の講話がありました。今年度は後2名の予定です。



ゲストスピーカー・長崎税関鹿児島税関支署
志布志出張所 統括監視官 有村浩美
事務官 片山 明伯 「麻薬について」 11月17日



ゲストスピーカー・日本赤十字社の森田様の献血セミナー 「献血の現状とお願い」 9月15日



メンバーズ スピーカー L. 下戸 直一
「焼酎文化」 11月3日



メ
ン
バ
ー
ズ
ス
ピ
ー
カ
ー
シ
、
白
木
宝
寿
「
生
か
せ
」
い
の
ち

②【2月23日(木)】「青少年健全育成」(志布志市香月小学校) ※4月報告分

小学校のPTA活動に伴ない青少年健全育成の一環とし昨年度、青少年健全薬物乱用認定講師を活用し小学校の親御さんにリーフレットを活用し講話を行ないました。



薬物依存症の低年齢化、薬物の怖さの話をされるL、安田 裕一



自宅に帰ってから、子供と一緒にリーフレットを見て、薬物乱用の怖さを小学校のうちから頭に入れてくださいとお話をされました。



PTA会長からのお礼の言葉

③【4月5日(木)】「東日本大地震への支援物資、例会の際のスピーチ」

東日本大地震より丁度一年が経過しましたが、まだまだ、支援の方が必要との事で子供の肌着、Tシャツ、タオル等を被災地の児童たちへお送りしました。

ゲストスピーカー・メンバーズスピーカー



メンバーズスピーチ「最後はボケたい」
L、新地 裕実



東日本大地震への支援物資を送るライオンズクラブ
ボランティアセンターへ(子供の肌着等)

④【4月19日(木)】「花いっぱい運動、花見例会」

花見例会は夫婦参加型で毎年行なっています。



4月19日花いっぱい運動



4月19日花見例会

■沖縄リジョン

沖縄リジョン

【4月20日（金）～22日（日）】「332-C地区 第4R第3Z 南三陸志津川LC訪問」 (於：宮城県南三陸町)

東日本大震災から1年余となる4月21日、沖縄リジョン9名で本来であれば昨年であった南三陸志津川ライオンズクラブの50周年記念例会へ参加、地域とクラブ会員を激励した。
沖縄R恩納ライオンズクラブと訪問先クラブは、震災前より交流があり50周年例会への参加でさらに絆を深めた。



南三陸志津川LC 小坂会長・佐藤L.（南三陸町長）と懇親を深める識名ガバナーと屋比久沖縄リジョンシェアーパーソン。



震災から1年余が経過したが沖縄から、出来ることがまだまだあるのではないか。



新割坂30世帯、志津川自然の家75世帯、戸倉中学グラウンド団地62世帯に沖縄R恩納ライオンズクラブと恩納村商工会婦人部、沖縄リジョン内事務局の手づくり菓子 2000個を配布し激励した。



戸倉中学校グラウンド 仮設住宅では寸劇と三線による沖縄民謡で地域の皆様を激励した。



記念例会、全国より280名のライオンが共に集い祝った。沖縄から参加し元氣づけるつもりが逆に元気をいただきました。「街や職場は復興再生できるが命の再生はできない」との言葉が心に残った。